

学校施設・設備の整備事業

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第 16 回の今日は、「学校施設・設備の整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 早速ですが、今日のテーマ「学校施設・設備の整備事業」の主な事業について教えていただけますか。

市長： 学校施設・設備の整備につきましては、市の最上位計画であります「三島市総合計画」において、学校教育の重要事業と位置づけており、学校生活での生徒の安全と安心を最優先に、計画的、かつ、積極的に対応しています。

今年度の工事といたしましては、今年 3 月末に新校舎が完成した北中学校におきまして、グラウンドと北校舎の復旧工事を実施しております。その他、老朽化が進んでいる各学校のトイレや空調設備等の改修工事を引き続き行うとともに、広い天井のある学校の天井落下防止工事などを計画しております。

アナ： 北中学校は、今年度から新しい校舎での生活となりましたが、生徒たちの様子はいかがでしょう。

市長： 学校からは、生徒たちの学習・生活態度が落ち着いてきており、授業に集中できているという話を聞いております。校舎完成までの約 2 年間、生徒や保護者の皆様、地域の皆様方のご理解とご協力をいただきましたことで、このような立派な校舎が完成できたものと感謝しております。ありがとうございました。

アナ： トイレ改修の工事についても詳しく教えていただけますか。

市長： トイレ改修工事につきましては、老朽化している校舎トイレの配管を改修し、便器の洋式化や床のドライ式化をするなど、全面的にリニューアルするものとなります。26 年度から計画的に改修を進めておりますが、今年度は南小学校、南中学校、中郷西中学校の 3 校で実施いたします。

アナ： 洋式化と床のドライ式化など、トイレの改修をすることで具体的にはどのような効果があるのでしょうか。

市長： トイレを洋式化することで、普段から自宅などで洋式しか使ったことのない児童生徒が、学校でも安心してトイレを利用できるようになることから、生徒の健康面へのさらなる配慮が可能となります。また、床のドライ式化は、今まで濡れていることの多かったトイレの床と比べ清潔に保つことができ、衛生面での効果があります。

アナ： トイレは毎日使う場所ですから、子どもたちへの影響が大きい場所なのですね。

市長： そうですね。トイレがきれいになると学校全体の雰囲気明るくなる、

といった声もよく聞かれます。トイレ改修については、今後も計画的に改修工事を進めていきたいと考えております。

アナ： そういえば、三島市は、県内で初めて全普通学級に電子黒板を整備するなど、学校における ICT 環境の整備にも力を入れていますが、今年度はどのような整備を実施するのでしょうか。

市長： 今年度は、東小、徳倉小、沢地小、北上小の 4 小学校と全 7 中学校のパソコン教室の機器の更新を実施します。具体的には、従来のデスクトップパソコンからタブレットパソコンに入れ替える予定です。

アナ： なるほど。タブレットパソコンであれば、パソコン教室内だけでなく、校内の様々な場所に持ち出して使用することができますね。

市長： そうですね。今回の整備では、パソコン教室内において、タブレットパソコンを従来のデスクトップパソコンと同じ様に、既存のモニターやキーボードなどを操作して使用できる環境とするため、専用の接続機器も導入いたします。

一方で、子どもたちが普通教室や体育館等、校内の様々な場所にタブレットを持ち運んで使用することもできます。新学習指導要領では「情報活用能力」を学習の基盤に位置づけていますので、今年度の整備は、新学習指導要領に対応した「活用される ICT 環境」の整備を目指したものとなります。

アナ： 電子黒板の整備に続き、タブレットパソコンの整備によって、より一層学校の ICT 環境整備が充実していきますね。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。